



# 河東 ふれあい

  
74号  
発行元  
河東地区コミュニティ運営協議会  
広報委員会  
TEL:35-1837 FAX:35-1864  
http://katou-cc.com/

## 河東小 河東西小 出前授業 ~昔の暮らし 古道具にふれて~

1月25日(木)河東小、2月9日(金)河東西小のそれぞれの3年生に、昔の暮らしや使われていた道具について出前授業をしてきました。

今回は事前に質問を貰っていたので、子どもたちに関心のある話が出来て説明しやすかったです。

また、出前授業について、昨年2月1日付西日本新聞掲載記事を読まれた市民の方から非常にめずらしい貴重な古道具を提供していただき、幅広い説明が出来たと思います。

最後に歴史研究会で作成した「誇れる宗像歴史年表」にも関心を持ってもらい、楽しく授業を終える事が出来ました。(公民館活動部会 歴史研究会 花田敏彦)



はた織り機



石うす



杵と臼



糸車

## 有意義な研修 ~エネルギー問題と最先端技術~

1月30日(火)雪がちらつく中、環境整備部会関係者20人で研修のため北九州市へ行きました。

「北九州エコタウンセンター」では、再生可能エネルギーの企業間連携や技術革新の説明を聞きました。その後、風力発電と太陽光発電を見学しました。

安川電機では「みらい館」と産業ロボットMOTOMAN(モートマン)によるロボットの自動組み立てなどを見学しました。

CO<sub>2</sub>削減やエネルギー問題について先進的な取り組みを行っている北九州市に見習い、私たちにもできる省エネを心がけようと思った有意義な研修となりました。

(環境整備部会)



エコタウンでの研修



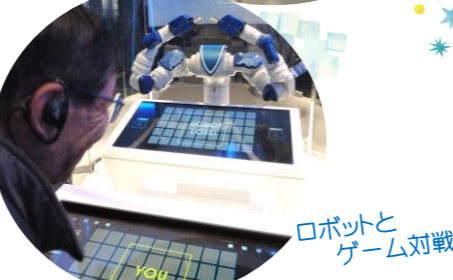
ひびき灘 風力発電



「みらい館」



ルービックキューブを揃えるロボット



ロボットとゲーム対戦

## 「むなかた古道」をウォーキングしてみませんか!

平成29年2月、市が主催している環境リーダー上級講座の有志が「むなかた古道プロジェクト」を結成しました。

きっかけは、山田地区の歴史講座でした。そこで、昔の人たちは宗像四塚の麓の古道(里道)が岬から横山、山田地区を經由して赤間に向けて往来していたことを知りました。

さっそくこれらの古道を調査したところ、道筋には地域の自然と景観、多くのお堂や祠が現在も残っており、市民に広く知って戴きたいという思いで活動を開始しました。

- 現在 ①赤間～山田(約6km)  
②山田～池野(約7km) ③池野～岬(約6km)の3つのコースのウォーキングマップと、地域の解説書(冊子)をすでに作り、イベントへの参加者に配布しております。



ユリックス芝生広場より

昨年10月から12月にかけて3つのコースで古道ウォーキングを開催したところ、10月30人、11月35人、12月72人の方々が参加されております。「むなかた古道」について詳細を知りたい方は、代表の樺島康信氏(090-4991-3570)までご連絡下さい。

(むなかた古道プロジェクト構成員 石田重俊)



三郎丸 宗像四国東部霊場八十番札所 (赤間～山田)



山田～池野

## 感謝状 をいただきました

樟陽台の子ども会では、毎年冬になると「火の用心カンカン!」と子ども達の元気な声で地域をまわり火災予防活動をしています。

この子ども会の活動が宗像地区消防本部からの表彰に繋がり、とても光栄です。

ありがとうございました。

(樟陽台子ども会育成会会長 土屋和美)



## 市長ふれあい座談会



役員会では、2月15日(木)に「市長ふれあい座談会」を行いました。

谷井市長からは、河東地区は歴史や自然環境を活かしたまちづくりや「むなかた古道」を活用した回遊性のあるまちづくりを目指してもらいたい、などの発言がありました。

また、高齢者と子どもの関わり、子どもを呼び込むための事業の取り組みなど多くの意見交換ができ、有意義な座談会となりました。

(運営協議会 事務局 日南利幸)